

【課題名】

食事摂取不良で減薬した患者における退院時食事摂取量に与える因子の検討

【研究の概要】

薬物有害事象には味覚異常や消化器症状など、食欲不振に繋がる副作用も少なくない。しかし、ポリファーマシーが低栄養と関連しているという報告は多数あるものの、ほとんどは横断的研究であり、因果関係は定かではない。そこで、薬剤を減薬した患者がその後の栄養状態にどのような変化があったのかを後方視的に調査する。

2021年4月から2023年3月に薬剤総合評価調整加算を算定し2剤以上減薬し、かつ、減薬前の食事摂取量が25kcal/kg/日未満かどうかを電子診療録にて抽出する。薬剤状況は薬剤師が、食事摂取量は管理栄養士が、理学療法および摂食嚥下状況は理学療法士が調査を担当し、3ヶ月を目途にデータを収集する。得られたデータを匿名化したのち、無料統計ソフトEsayRにて解析する。1ヶ月を目途にデータを解析する。

退院時食事摂取量25kcal/kg/日以上を達成群、それ未満を未達成群とし、調査項目を比較する。

なお、多変量解析を実施できるほどの患者を抽出することができない場合は、調査対象期間を延長するなどに対応し、それでも不可な場合には多変量解析は実施しない。